

科学者委員会 知的財産検討分科会（第7回）議事録（案）

1. 日時 平成22年4月26日（水） 15:00-17:00
2. 会場 日本学術会議 5-C（2）会議室
3. 出席者：藤嶋委員長、野本副委員長、隅蔵幹事、渡部幹事、古川委員、松本委員
（欠席：入江委員、須田委員、笠木委員、永井委員、長岡委員）
事務局：古西参事官他

4. 議事

（1）開会

- ・委員11名のうち6名が現時点で出席、成立している。

（2）前回議事録の確認

- ・前回の議事録を確認した。

（3）報告書（提言Ⅰ）案について

- ・知的財産、知的財産権、知的財産制度、の関係を示すとよい。
- ・「知的財産制度」は「知的財産権制度」とした方がよい。
- ・これまでの検討の経緯をもっと書くとよい。
- ・研究成果に対するプライオリティを重視し論文発表を一刻も早く行いたい科学者コミュニティにおいて、特許制度といかに調和させるかということが論点となる。
- ・論文による特許出願を可能にする、という点をもっと詳しく書き込む。科学者コミュニティの進む方向性とも絡めて。ただし、論文が何でも特許になりお金になる、という誤解を生まないような書き方にすべき。
- ・欧州でも、特許クレームなしで出願日の確保ができる制度がある。
- ・日本企業でも、米国の仮出願制度を使っているところは多数ある。
- ・知的財産権と国際標準との関係を入れるべき。国際標準に関する人材育成に科学者コミュニティが貢献すべき、という内容も含めて。
- ・タイトルは、「～のあり方について」という形にした方がよい。

（4）今後の予定

- ・以後は分科会を開催せず、メールを用いて修正・意見交換を行う。

（5）閉会